



展示企画

未来に伝え残したい

立川の歴史遺産

2026年8月27日(木)～29日(土)

27, 28日:9:00～21:00 29日:9:00～16:30【**入場無料**】

会場:立川市女性総合センターアイム1階ギャラリー

立川市曙町2-36-2 (立川駅北口から徒歩7分)

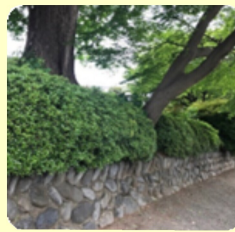
進取に富んだ立川の人々と歴史を紹介



200万年前(地質時代)*1



向郷遺跡(縄文時代)*2



立川氏の館跡(中世)



玉川上水(江戸時代)



甲武鉄道(明治22年)*3



立川飛行場(大正11年)*4



カワラノギク(昭和2年)*5



指揮者 小澤征爾氏*6

資料提供 立川市歴史民俗資料館、立川市市史編さん室、羽村市郷土博物館、小澤征爾音楽塾 他

記念セミナー

「立川再発見！とっておきの話」

会場:立川市女性総合センターアイム 1階ホール

日時:8月29日(土)13:30～15:30 先着申込180名

参加費(資料代):500円【**高校生以下無料**】

講師 (I部で「立川200万年の歴史をたどる!」上映)

- 中世の立川を語る
- 立川百年の変遷を語る
- 立川崖線の魅力を語る



森 信保 氏
(郷土史研究者)



豊泉 喜一 氏
(立川民俗の会 会長)



鈴木 功 氏
(立川自然観察友の会 会長)

申込方法
(電子申請)

●受付開始日:
7/27(月) 8:30～

電子申請



問い合わせ
生涯学習推進センター
042(528)6872



●記念セミナー 「立川再発見！とっておきの話」



2026年8月29日(土)13:30～15:30
会場:立川市女性総合センターアイム 1階ホール
申込方法:先着申込180名、電子申請(表面参照)



立川の中世を語る

立川の地名の発祥でもある武蔵七党の一つ西党(日奉氏)から生まれた立川氏の由来を語る。15世紀初め「第二次立河原合戦」が行われ、上杉(山内)の本陣が普濟寺付近といわれ、その「城跡」が領主立河氏の居館址と推定されています。

■森 信保 もりのぶやす
プロフィール

1936年(昭和11年)長崎県生まれ。元立川市公民館長。長年、立川市の社会教育事業等にかかわる中で立川(三多摩)の歴史調査研究。活動分野は、歴史・民俗・郷土史・美術指導。これまで立川市地域学習館・たちかわ市民交流大学・シルバー大学講師、スケッチ指導ほか。現公私日記研究会会員。

立川百年の変遷を語る

明治22年甲武鉄道(現在の中央線)が開通し、大正12年立川飛行場が開設されて以来百年余り。この間、砂川町との合併を経て立川は大きく変身し今や多摩の中核都市として発展しています。この立川の百年を皆さんと共に振り返りたいと思います。

■豊泉 喜一 とよいずみ きいち
プロフィール

1930年(昭和5年)旧砂川町生まれ、家業の農業を受け継ぎ9代目。若い頃から青年団活動や地域の社会教育活動に従事。昭和53年から立川市議を5期20年(第41代議長)を務め、以降立川市文化財保護審議会委員の他、立川民俗の会に所属。現在、民俗の会会長、立川市市史編さん委員会委員。

立川崖線の魅力を語る

立川崖線は長年に亘り多摩川の蛇行の浸食によって出来たもので青梅から狛江まで約40kmに連なり、立川市内では約3kmの間、変化に富んだ崖が見られます。都市化の進んだ立川市の中で自然や歴史、文化の残る貴重な場所となっています。

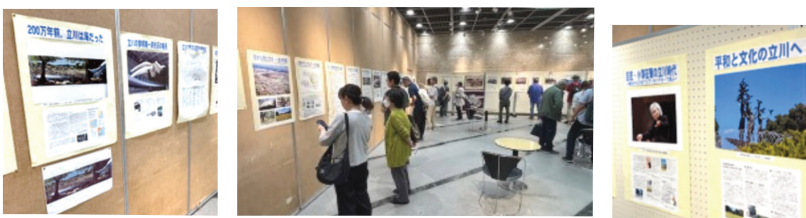
■鈴木 功 すずき いさお
プロフィール

1930年(昭和5年)立川市生まれ。小学校5年の時、太平洋戦争が始まる。学徒動員や1945年の立川空襲を体験。戦後、立川市文化財保護審議会会長等を経て立川市史編さん委員会委員。著作に「米寿現役一わが父の農業誌一」、鈴木為佐生のペンネームで『立川のわらべ遊び・わらべ唄(立川民俗シリーズ3)』ほか。

●展示企画 未来に伝え残したい立川の歴史遺産 入場無料

8月27日(木) 28日(金) 9:00～21:00 29日(土) 9:00～16:30
会場:立川市女性総合センターアイム 1階ギャラリー

200万年前から現代まで 写真とエピソードでたどる立川の歴史と文化



昨年(2025年)好評を頂いた展示に更に充実した内容でお届けします。

東京都の中心部に位置し、南に多摩川の清流を擁し、遠くに富士を臨む多摩地域の交通・商業の要衝の地・立川。立川の魅力・素晴らしさとして次の3点があげられます。
(1)美しい自然と環境 :水と緑に囲まれた優しい街
(2)豊かな歴史と文化 :教育・文化・芸術の薫る街
(3)先取に富む人材 :民間の活力溢れる街
基地の街・立川から平和・文化の発信基地・立川へ一展示を通して私たちの街・立川の魅力を発信します。
立川ユネスコ協会歴史遺産部 永井 靖二

ー ユネスコと「世界遺産」「未来遺産」活動について ー

2度の世界大戦の反省から戦争のない世界を目指し、1945年11月、ロンドンでユネスコ憲章が採択され、翌年に世界の平和と人類の福祉に貢献する国際機関として、国際連合のもとにユネスコが誕生しました。



パリ・ユネスコ本部

ユネスコ(UNESCO)とは、教育(Educational)・科学(Scientific)・文化(Cultural)を通して世界の平和に寄与する国際(United Nations)・機関(Organization)です。文化の分野では、文化遺産(有形文化財)、自然遺産、無形文化遺産(音楽・舞

踏・祭りなど)の保護・保全活動を推進しており、ユネスコの「三大遺産事業」などと呼ばれています。

日本ユネスコ協会では、日本の豊かな自然や文化を100年後の子どもたちに伝えていくことを目的に、自然や有形・無形の文化を守り伝える市民の活動を支援する未来遺産運動を行っています。

その一環として「未来に伝え残したい立川の歴史遺産」をテーマに展示・記念セミナーを企画いたしました。立川ユネスコ協会としても立川の豊かな自然と文化を未来へとつなげていきたいと思えます。是非とも皆さまのご来場をお待ちしております。

立川ユネスコ協会 会長 志村 順子